

# フォーサイド グループ 2022年12月期第3四半期 決算説明資料

補足説明資料

# 2022年12月期第3四半期 連結業績ハイライト

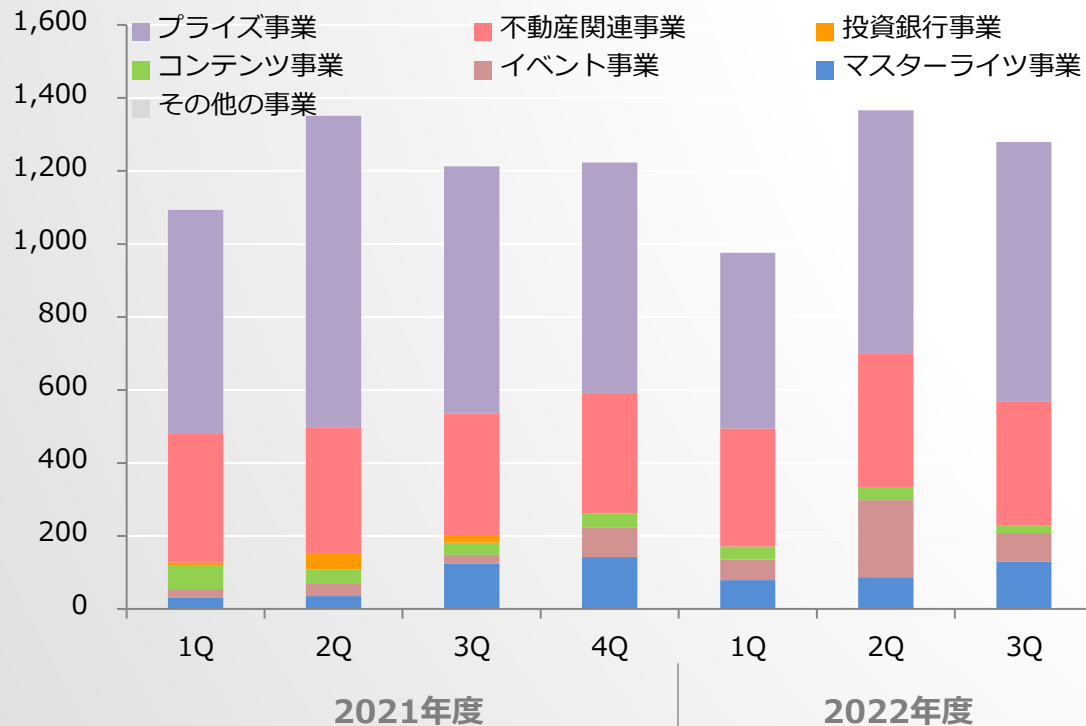
(単位：百万円)

	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	前年比	主な増減要因・傾向
営業収益	3,669	3,631	98.9%	<p>2022年12月期第3四半期の営業収益は、「不動産関連事業」が堅調に推移いたしましたが、出版事業における広告売上が当初の想定を大幅に下回ったこと等により、グループ全体の営業収益は前年比98.9%の3,631百万円となった。</p> <p>利益においては、出版事業における広告売上の減少にくわえ、プライズ事業において、急激な為替変動（円安）による製造コストの上昇、エネルギー価格の高騰による海上輸送費の上昇等により、利益を大幅に押し下げることとなった。これらの結果、グループ全体の営業利益は△79百万円、経常利益は△75百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は△85百万円となった。</p>
売上総利益	1,465	1,334	91.1%	
販売管理費	1,265	1,414	111.8%	
営業利益	200	△79	—	
経常利益	200	△75	—	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	217	△85	—	

広告売上の減少、製造コストの上昇により、  
営業利益、四半期純利益は大幅な赤字に

# 営業収益の推移

(単位：百万円)



出版事業における広告売上が大苦戦  
グループ全体では前年比1.1%の減収

## セグメント別の主な増減要因

### プライズ事業

プライズ事業では、人気キャラクターグッズ売上の反動減等により、売上高は前年同期を下回る。利益面においては、景品の多くが中国を中心とした海外製造であることから、急激な円安進行による円換算での製造コストの上昇、エネルギー価格高騰による海上輸送費の上昇等により、セグメント利益は大幅に減少。

### 不動産関連事業

不動産関連事業では、営業面においては、新規取引店の獲得並びに既存取引先の再稼働等、営業強化・拡大に向けての取り組みを継続。管理回収面においては与信審査及び債権管理業務の効率化にも取り組む等、状況に応じた顧客管理に努めるも、営業強化・拡大によるコスト増加や滞納者が増加したことに伴う貸倒引当金繰入額が増加したこと等により、セグメント利益は減少。

### 投資銀行事業

投資銀行事業では、引き続き案件の成約に至らなかったことから、セグメント損失を計上。

### コンテンツ事業

コンテンツ事業では、ユーザーニーズに合わせたサイト運営やユーザビリティの向上、費用対効果を重視したプロモーション施策を継続。一方で、2022年7月以降、auスマートパス「アプリ取り放題」が終了したことに伴い、セグメント全体では減収減益。

### マスターライセンス事業

マスターライセンス事業では、「TOKYO IDOL FESTIVAL 2022」を筆頭に多くのLIVEやアイドルフェス等に出演し、音楽活動を展開。出版事業においては「Popteenリアコ祭/Cuugal感謝祭」を主催し、コロナ禍で中断されていたリアルイベントを開催できた一方、広告売上が当初計画に対し低調に推移したこと等により、セグメント損失を計上。

### イベント事業

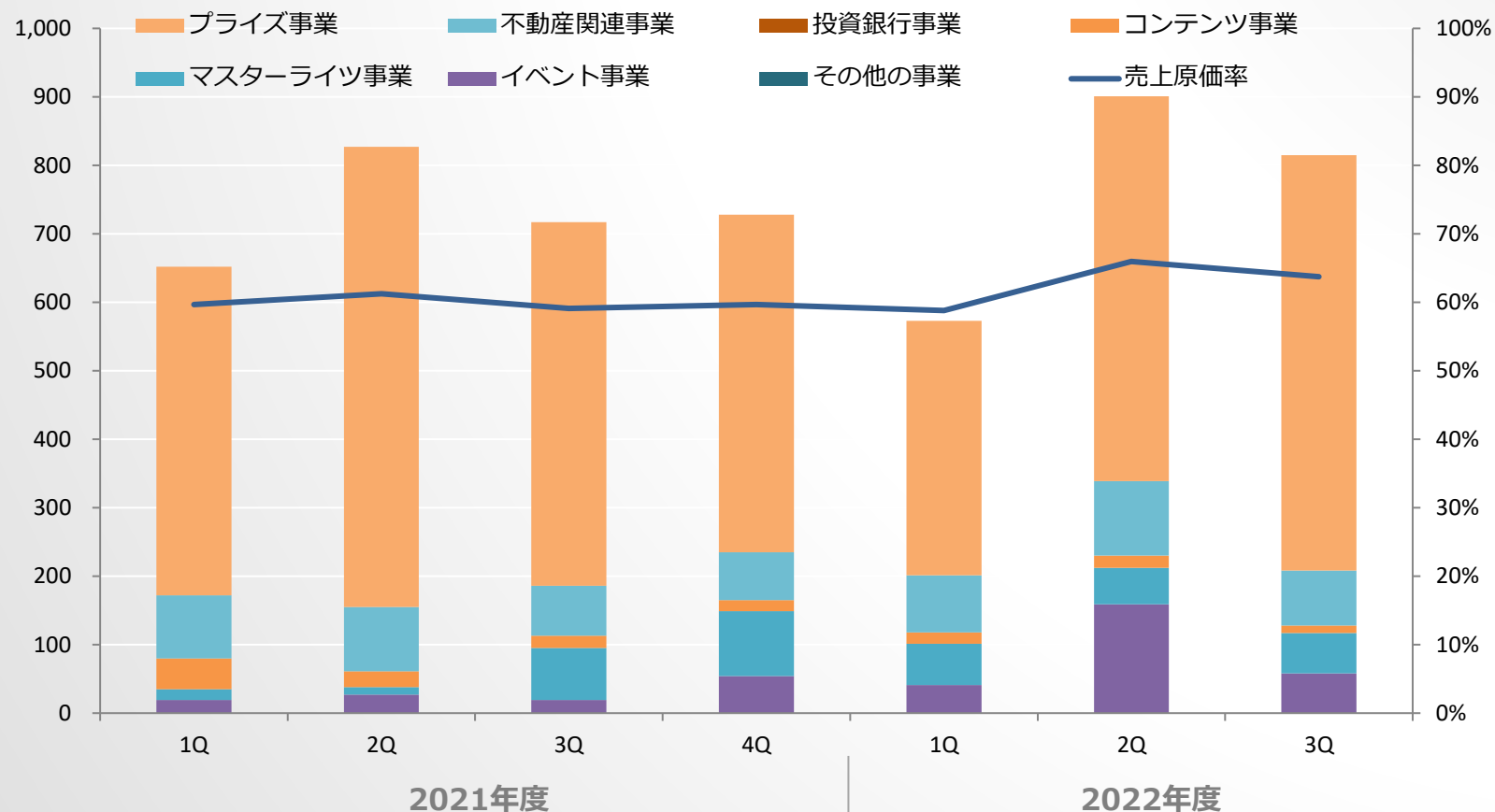
イベント事業では、多くのイベントの来場者数は回復傾向にあり、物販は好調に推移。その他OEM物販も好調に推移したことにより、売上高、セグメント利益ともに、前年の実績を大幅に上回る。

### その他の事業

金融事業では、貸付金の回収に努め、セグメント利益を確保。

# 原価の推移

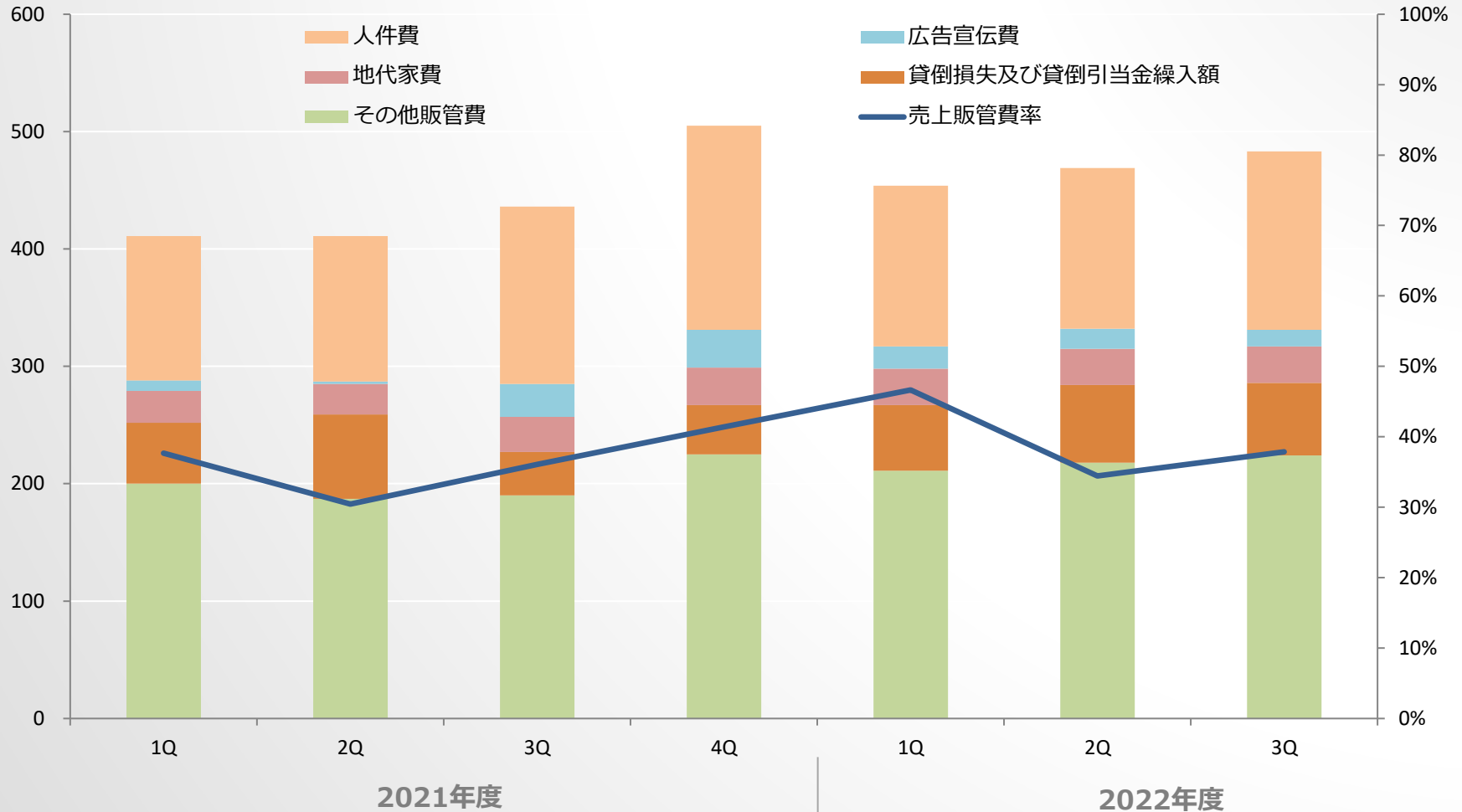
(単位：百万円)



急激な円安進行により、プライズ景品の仕入（製作）単価が上昇

# 販売管理費の推移

(単位：百万円)



公的補償の終了に伴い滞納者が増加したことで、貸倒引当金繰入額が増加

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2021年度 12月期	2022年度 第3四半期	増減金額	主な増減要因・傾向
資 産	4,426	4,165	△260	資産については、現金及び預金の減少218百万円、売上債権の減少109百万円、貸倒引当金の増加85百万円等により、前連結会計年度末に比べ260百万円の減少となった。
負 債	3,259	3,084	△174	負債については、未払法人税等の減少118百万円、長期借入金の減少91百万円等により、前連結会計年度末に比べ174百万円の減少となった。
純資産	1,166	1,080	△86	純資産については、親会社株主に帰属する四半期純損失85百万円を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ86百万円の減少となった。

(注) 2022年11月11日現在、発行済株式総数は32,557,704株、資本金は100百万円です。

四半期純損失の計上により、純資産が減少



2022年12月期の業績見通し

# 2022年12月期の業績見通し

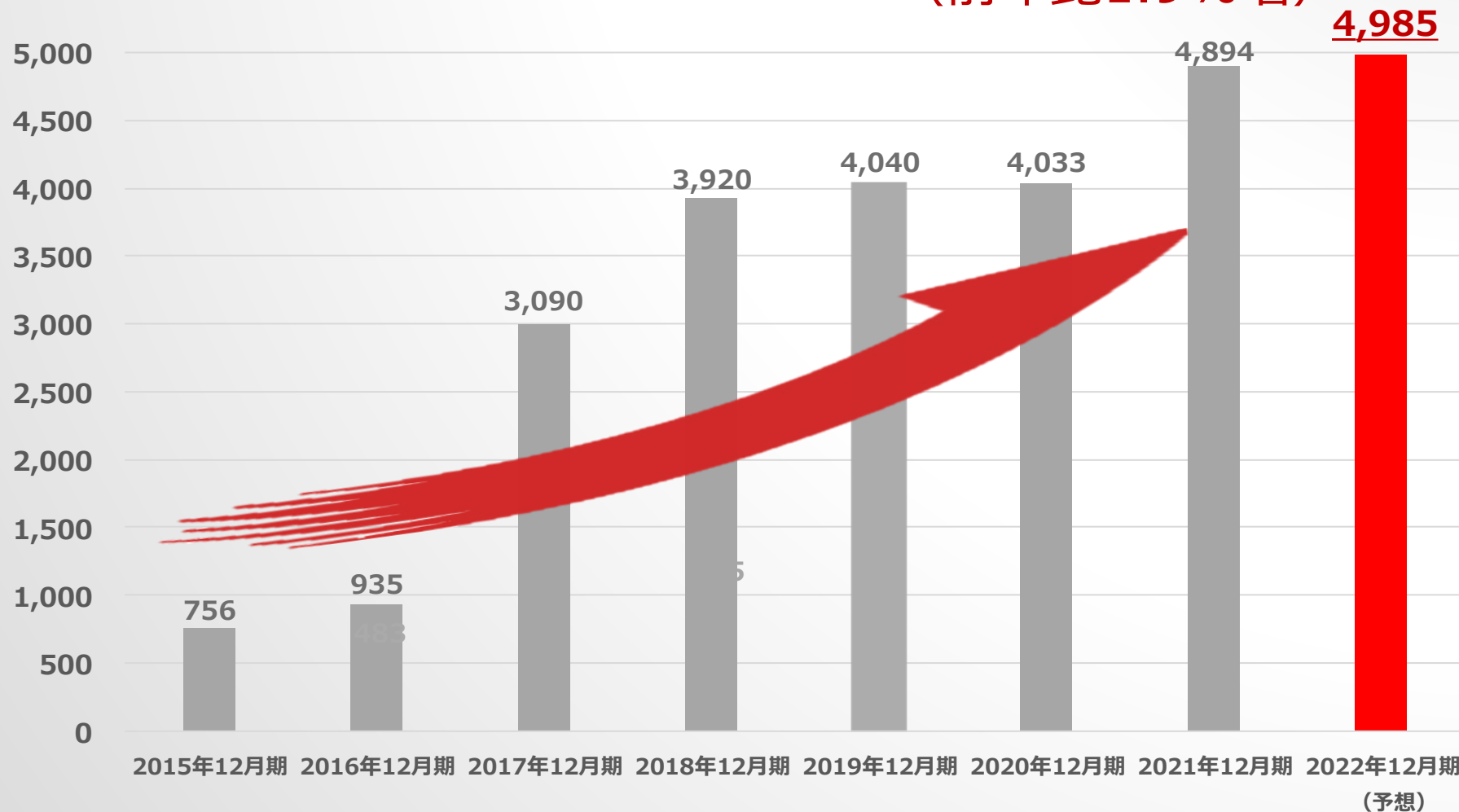
2022年12月期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年2月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。以下の資料の他、本日公表しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。



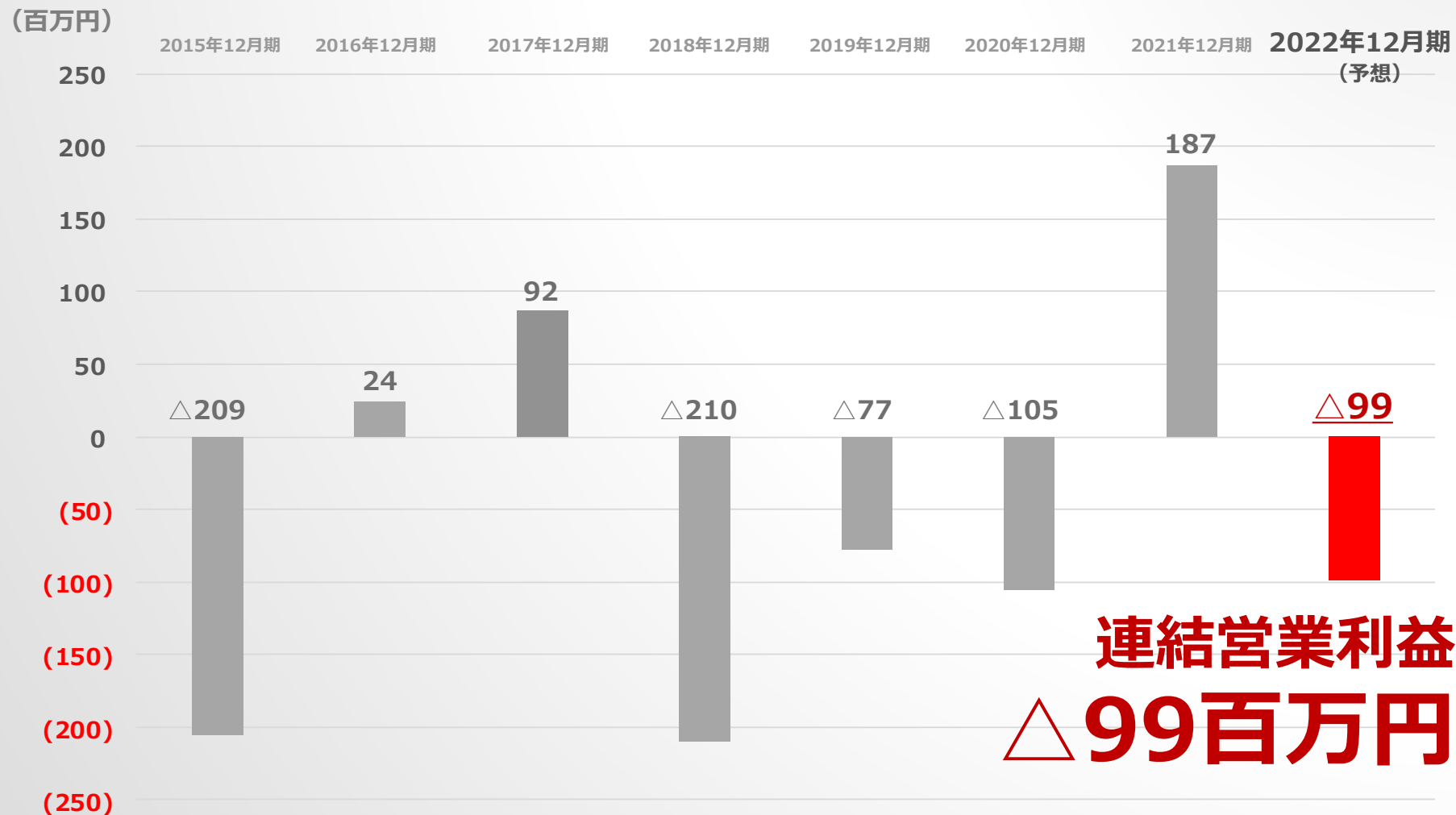
# 連結営業収益（通期予想）

**連結営業収益49億85百万円**  
(前年比1.9%増)

(単位：百万円)



# 連結営業利益（通期予想）





## 参考資料（グループ概要）

# フォーサイドグループ概要

会 社 名

株式会社フォーサイド (持株会社)



所 在 地

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号 E.T.S.室町ビル8階

設 立 日

2000年3月31日 (2002年10月10日 JASDAQ上場 証券コード2330)

資 本 金

100,000,000円 (2022年11月11日現在)

経 営 陣

代表取締役 根津 孝規 取締役会長 泉 信彦  
常務取締役 飯田 潔 常務取締役 吉田 生喜  
監査等委員 法木 右近 監査等委員 田辺 一男 監査等委員 瀬山 剛

顧 問

法律顧問 TMI総合法律事務所

事 業

- ・株式等の保有を通じたグループ企業の統括及び管理等
- ・投資銀行業務

主な子会社

- ・(株)ブレイク：プライズゲーム用景品の企画・製作・販売/イベント企画・運営
- ・日本賃貸住宅保証機構(株)：賃貸家賃保証/不動産仲介売買/賃貸管理事業
- ・(株)ポップティーン：電子書籍配信事業/スマートフォンアプリ配信事業/出版事業
- ・フォーサイドフィナンシャルサービス(株)：M&Aのアドバイザー業務
- ・(株)マーベラスアーク：音楽関連事業
- ・フォーサイドメディア(株)：出版事業



#### —免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイドに属します。